

科目名		構造力学Ⅰ			
担当教員		羽下 準嗣	実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	建築系講義における構造力学の位置づけを理解し、その基礎を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	力の基礎から、構造力学の反力までを学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教科書(やさしい構造力学)、配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	構造力学に必要な算術計算		基礎的な構造力学を学ぶにあたり必要な算術計算の復習。		
2	力の基礎		力の向き・大きさなど、力の表現をイラストを見ながら学習。		
3	力のモーメント		ねじる力(モーメント)の考え方・計算方法を学習。		
4	合力		合力(力を足し合わせる)の考え方・計算方法を学習。		
5	分布荷重		分布荷重の考え方、合力の算出方法を学習。		
6	力のつり合い		反力の基礎となる力のつり合い計算の学習。		
7	構造物のささえ方		支持方法によって、発生する反力の変化を学習。		
8	単純梁、片持ち梁、張出梁、ラーメンの反力		例題を利用し、各構造物の反力の算出方法を学習。		
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点 10 %	小テスト 40 %	期末テスト 50 %		前期の力の基礎から反力、後期の応力、さらに2年次へと授業内容は関連しています。1年時の基本がとても重要になります。仕組みさえ理解してしまえば計算自体はとても簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張りましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築設計事務所にて意匠設計に従事。			